

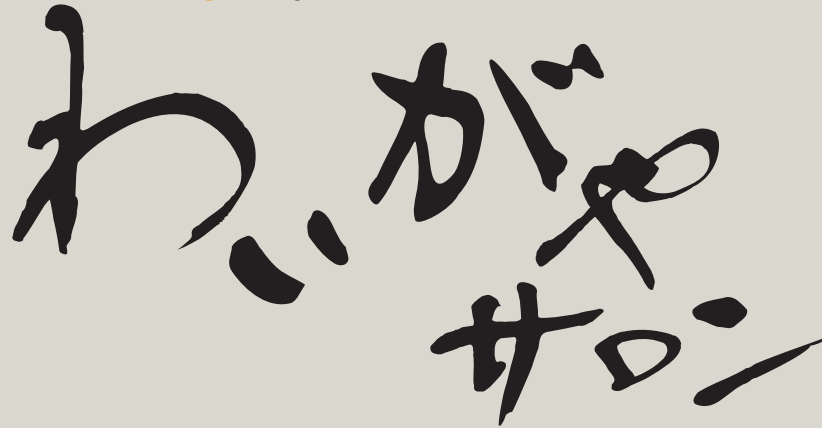


- 第1回 大河ドラマ「風林火山」をめぐって 平成18年9月19日  
講師/佐倉一徳さん NHK長野放送局企画総務部副部長  
樋口 博さん 長野市産業振興部観光課課長
- 第2回 もっと楽しくて、元気な街づくりを 平成18年10月23日  
講師/久米えみさん ながのクラッセ会長  
樋口敦子さん ながのまちづくりカフェメンバー
- 第3回 スポーツによる街づくりを 平成18年11月21日  
講師/鷺沢幸一さん アスレながの事務局長  
室賀 豊さん 長野市アイスホッケー協会理事
- 第4回 写真で見る長野の街並み 平成19年1月23日  
講師/清水隆史さん フォトグラファーほか  
常盤昭二さん CMディレクター
- 第5回 健康と美容を保つために 平成19年3月22日  
講師/虎羽里(トラバリ)ゼーラさん アーユルヴェーダ・健康セラピスト
- 第6回 環境と街づくり ばていお大門・TOiGOの設計に参画して 平成19年4月23日  
講師/亀野泰一さん 株式会社エーシーエ設計 取締役副社長 [一級建築士]
- 第7回 信濃グランセローズの挑戦 平成19年5月21日  
講師/木田 勇さん 信濃グランセローズ監督
- 第8回 スポーツマンシップの大切さ 平成19年8月29日  
講師/荻原健司さん 参議院議員・五輪金メダリスト
- 第9回 トウガラシの尽きせぬ魅力/「農」による地域活性を探る 平成19年10月24日  
講師/松島憲一さん 信州大学大学院農学研究科 准教授
- 第10回 命のバトンを渡す「ピオトープ」/長野市をピオトープネットワークシティに 平成19年11月14日  
講師/松岡保正さん 国立長野工業高等専門学校 環境都市工学科教授
- 第11回 簡単・おいしい・オシャレ/わたしのレシピができるまで 平成20年3月26日  
講師/浜のみさん クッキング・コーディネーター
- 第12回 あなたのからだは「築何年」ですか? 平成20年7月14日  
講師/角本浩二さん バランスアドバイザー 長野県健康管理士会会長
- 第13回 アメリカ生活で感じたあれこれー変化に対して前向きになることの大切さー 平成20年8月19日  
講師/針谷友久さん 東京中小企業投資育成株式会社 主任(長野県担当)
- 第14回 市役所第一庁舎及び長野市民会館の在り方考える 平成20年9月16日  
講師/水野守也さん 長野市総務部次長 兼庶務課長
- 第15回 長野バルセイロー優勝報告&JFL昇格への挑戦 平成20年10月29日  
講師/バドゥ・ピエイラ監督、薩川了洋コーチ、真富信宏キャプテン
- 第16回 農業再生とブランド化 平成20年12月3日  
講師/町田良夫さん 社団法人長野市農業公社 常務理事
- 第17回 地上の楽園は馬の背にあり 平成21年2月18日  
講師/中山 修さん 中山法律事務所 弁護士
- 第18回 循環型農業の実践ー宇宙のリズムにあった農業で一次産業の再生を試みるー 平成21年6月3日  
講師/塩澤研一さん (財)いのちの森文化財団副理事長 (株)水輪ナチュラルファーム代表取締役
- 第19回 郷土を包む「おやき」 平成21年7月14日  
講師/小出陽子さん (同)ふきっ子のお八起 代表/信州おやきブランド化委員会 研究会リーダー
- 第20回 信州の伝統から生まれる食文化ー漬物の新しい風ー 平成21年9月2日  
講師/宮城恵美子さん (有)宮城商店専務取締役/木の花屋
- 第21回 飯綱高原を、もっと住みよく、おもしろく! 平成21年11月24日  
講師/志村雅由さん NPO法人 飯綱高原よっころしよ/代表理事
- 第22回 JFL昇格に向けて 平成22年3月17日  
講師/薩川了洋さん AC長野バルセイロ新監督
- 第23回 先人の知恵を受け継ぐ〜トチの実、雑穀、あんぼ〜 平成22年5月25日  
講師/石沢一男さん (有)田舎工房 代表取締役
- 第24回 3度目でつかんだオリンピック出場 平成22年7月28日  
講師/新谷志保美さん バンクーバーオリンピック代表 (株)竹村製作所 勤務
- 第25回 逃げないスケルトン ～夢と感動と勇気を～ 平成22年9月15日  
講師/越 和宏さん スケルトン競技3大会オリンピック日本代表 (株)システックス所属
- 第26回 Go to J〜Jを長野にーいよいよ地域決勝大会!〜 平成22年10月25日  
講師/鈴木政一さん 長野バルセイロ・アスレチッククラブ強化本部長
- 第27回 グランドデザインの視点で「信州の食」を考える 平成22年11月30日  
講師/千村尚司さん 千村ブレイン代表・ソムリエ

- 第28回 ご利益のある町づくり 平成23年1月26日  
講師/川崎史郎さん フリーライター・市民記者ネット代表
- 第29回 防災と危機管理 平成23年6月1日  
講師/安藤長一さん 篠ノ井消防署署長・緊急消防援助隊長長野県隊長(第二次派遣隊)
- 第30回 江戸のエコロジスト 一茶 平成23年8月30日  
講師/マフソン青眼さん 俳人・比較文学者
- 第31回 Waを生かしたまちづくり 長野はもっと元気になる 平成23年9月28日  
講師/井上裕子さん 信濃毎日新聞社編集局地域活動部長・編集委員
- 第32回 メディアから見た長野 平成23年10月19日  
講師/田幸淳男さん 信越放送取締役相談役
- 第33回 旅の楽しさと長野の魅力で世界をむすぶ 平成24年1月31日  
講師/飯室織絵さん 観光客向けゲストハウス「1166バックパッカーズ」運営
- 第34回 神輿で街の元気を呼び覚ませ 平成24年2月28日  
講師/相原 哲さん ながの町神輿連合会武睦会 会頭
- 第35回 長野とオリンピックレガシー 平成24年3月26日  
講師/小林 亨さん 日本オリンピック委員会(JOC)勤務
- 第36回 すべてが一丸となって「ながのの宝もの」をJへ 平成24年4月24日  
講師/薩川 了洋さん AC長野バルセイロ監督
- 第37回 信州の野鳥たち 平成24年8月31日  
講師/小宮山義光さん 日本野鳥の会長野支部会員
- 号外 門前まち花遊歩 一牛に引かれて善光寺参りー 平成24年9月1日
- 第38回 見る 学ぶ 体験する 自然農法 平成24年9月27日  
講師/塩澤研一さん 農業生産法人水輪ナチュラルファーム代表取締役/(財)いのちの森文化財団 副代表理事
- 第39回 善光寺参道と中心市街地のWi-Fi計画 平成24年10月25日  
講師/梶田達男さん NTT東日本 長野支店長
- 第40回 しなの鉄道長野以北延伸と営業戦略 平成24年12月6日  
講師/山田 隆さん しなの鉄道(株) 専務取締役
- 第41回 自然との共生 平成25年2月28日  
講師/藤岡牧夫さん イラストレーター・絵本作家
- 第42回 花は人を育てる 平成25年4月9日  
講師/矢澤秀成さん 園芸研究家/ながの花と緑そして人を育てる学校校長
- 第43回 人と組織の笑顔の創造 平成25年5月31日  
講師/近藤京子さん カウンセラー/NPO法人「わくわく志事研究所」所長
- 第44回 信州の分水嶺 ～山と川と里～ 平成25年8月22日  
講師/栗田貞多男さん 写真家
- 第45回 長野市の魅力と不動産取引の発展性 平成25年11月20日  
講師/鴨志田 明弘さん 野村不動産アーバンネット株式会社 企業不動産部専任部長
- 第46回 地域におけるバイオマス活用について 平成26年1月29日  
講師/天野良彦さん 信州大学工学部物質工学科教授
- 第47回 AC長野バルセイロー 私のチームマネジメントについて 平成26年3月3日  
講師/美濃部直彦さん AC長野バルセイロ監督



  
 Nagano Urban Policy Research Institute  
**NPO法人 長野都市経営研究所**  
 〒380-0834長野市大字鶴賀問御所町1289-1丸本ビル2F  
 TEL.026-235-7911 FAX.026-235-6166  
 www.nupri.or.jp  
 e-mail: nupri@nupri.or.jp



# 通信

Vol. 48  
2014.5





# 第48回 わたしにとってのボランティア

平成26年4月16日(水) 18:00~20:00

講師／丸田 勉さん 脚本・演出家 森の家 林りん館館長

■座長 岩野 彰 場所／NUPRI事務所 TEL.026-235-7911



まるた つとむ 1948年松本市生まれ、須坂市育ち。大学進学と同時に上京。映画助監督・シナリオライターになり、映画・テレビドラマなどの制作現場を歩む。1981年小川村に移住し、長野地域のビデオ作品や舞台を多く手がける一方、地域づくりに活動の輪を広げる。小川村在住

卯月中旬の宵のわいがやサロンは、長野市のお隣・小川村を本拠地にして多彩な活動を続ける丸田勉さんにおいていただき、ボランティアをテーマにしたビデオドラマ上映会とお話を頂戴しました。

## ボランティアに浸かる

東京で映画やテレビの仕事に就いていましたが、1981年小川村に入って、おやきを海外へ発信したり、若者とともに「ずくだせ創造局」を結成して、地域の活性化に取り組みました。その後、足でキーボード演奏する風ちゃん(風子。本名:富永房枝)に出会ったことが、私がボランティアにどっぷり浸かるきっかけとなりました。

「98アートパラリンピック長野 芸術祭」の総合演出を担当し、それが終わると、皆さんあまりご存じなかったと思いますが、「2001年ボランティア国際年」というものがありまして、長野市ボランティアセンターに集う方々と「ぜひ何かやろう」「舞台やフェスティバルでなく残るものをつくらう」と侃侃諤諤。「皆でドラマをつくらう!」となったのです。

ストーリーは、全国に向けて「自分が経験したい話・いやな話」を募集し、それらのエピソードを参考に私が組み立て、一つの話をつくりました。

出演者のうち、プロにお願いしたのは主役を含めた3人だけ。ほかはすべて、市の職員であったり、不登校の中学生であったり、彼女にふられた青年であったり……募集に応じてくれた長野市民の方々です。

制作スタッフもアマチュアと、プロでもドラマを作ったことのない人たちがした。

キャスト・スタッフとも学生が多かったこともあり、撮影にかけられたのは20日間だけ。撮影箇所は一部が高山村のほかはほとんど長野市内です。プロの俳優は誰か、場所はどこか、そんなところも楽しみながらご覧ください。



「DONGURI～権兵衛さんの出発～」パンフレット。「最近……若者たちの生態に首を傾げてしまうことも多々ある。だが、そうした現象を生み出してきた背景には社会状況があり、それを築いてきた私たち先輩の責任を回避してはならないことを知りつつ、それでも若者の全部が全部そうじゃないぞという思いで、見ず知らずの一人の老人にかかわる若者たちを描いてみた。」(配布された「長野市民新聞」2002.1.5「こだま」丸田さんのエッセーより)

## 「DONGURI ～権兵衛さん<sup>たびだち</sup>の出発～」

2001年ボランティア国際年ながの推進協議会制作ビデオドラマ (上映)

一人の老人が長野に現れた。彼は、太平洋戦争時に学徒動員入隊から逃れ匿われた洞窟を探しに来たのだ。車椅子の女性と出会い、彼女のメル友・そのまた友の若者たちが、見ず知らずの、名前を問うても「名無しの権兵衛とでも」と返答する老人の手助けを自発的に始める。

そうしたなか、老人は、ただ一人で荒野にドングリを植えているダウン症の青年と出会う。……



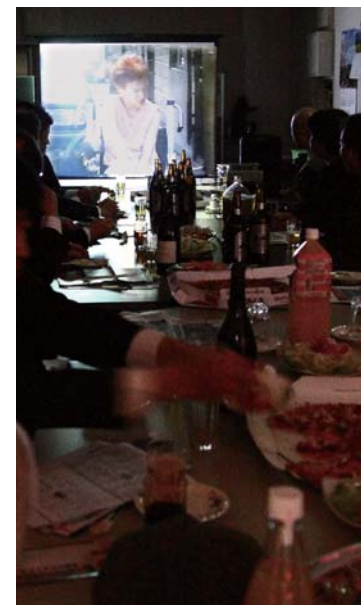
城山公園の花時計をバックに電動車椅子の女性(風ちゃん)と権兵衛さん(草薙幸二郎さん)が語り合う場面。同パンフレット裏より

## 被災地復興支援

このドラマを制作したのは13年前になるのですが、10年後2011年に東日本大震災が起きました。

1995年に起きた阪神淡路大震災のときに仲間と共に「信州・あったかプロジェクト」を立ち上げ、避難所におやきを届けることをしました。避難所で配られる食べ物は冷たいお弁当・菓子パンが多く、温かいおやき、特に野菜不足を補う野菜餡のおやきは喜ばれました。その経験から、東日本大震災が起きた際にもすぐさま「信州・小川村あったかおやきプロジェクト」を呼びかけて立ち上げ、おやき作りを村の皆さんに依頼し、宮城県東松島市を中心とした被災地におやきを運びました。

被災者となった際、確保すべき最重要は、一に命、二に食べ物、次段階が住宅です。被災直後は温かいおやきを届け、食べ物が必要なときは過ぎましたので、心のケアに少しでもお役に立てればと今も小川村から8時間かけて仮設住宅を訪れ、交流を続けています。



## わたしにとってのボランティア

ボランティアの意味を『広辞苑』に拾いますと、①志願者。篤志家。奉仕者。②自ら進んで社会事業などに参加する人。とあります。私の場合はテレビで被災地を見て、「これはただ事ではない」「何かしなくては」と感じる自分、じっとしていられず苦しい自分がおり、行動することによって楽になる。いわば火照る自分を鎮めるための消火作業であり、自分のための作業にほかなりません。同志の方や小川村の村民の力なくしては出来ないことで、感謝しなければならぬのは私のほう。そして、例えば被災地の方々、例えば障がいをもつ方が喜んでくださることによって、こちらが励まされることのほうが多々なのです。

桜も見頃のときとあって、丸田さんから提供された小川村発のお酒(発泡りんご酒「ヴィラージュおがわ」とかぼちゃ焼酎「成就のYUKIKO」。ともに丸田さんが企画販促等に関わる)と併せてサロンからの飲み物の杯を重ねつつの鑑賞となりました。



小川村の人々を巻き込んだ震災復興支援は続く。宮城県東松島市